

庄内町教育委員会議事録

令和元年第 11 回定例会

令和元年 9 月 19 日

庄内町教育委員会

庄内町教育委員会 令和元年第 11 回定例会 議事録

- 1 会議日程 令和元年9月19日(木)
 開会 午後2時30分
 閉会 午後3時31分
- 2 会議場所 庄内町役場立川総合支所 第二会議室
- 3 内 容
- 1 開 会
- 2 議事録承認
 令和元年第10回定例会議事録
- 3 報 告
- (1) 経過報告
- (2) 令和元年第3回庄内町議会定例会(9月)について
- (3) 平成31年度要・準要保護者の認定等について
- (4) 令和元年度計画訪問について
- (5) 平成31年度全国学力・学習状況調査結果について〔各校と町の考察〕
- (6) その他
- 4 その他
- (1) 第12回教育委員会定例会の開催について
 日時：令和元年10月29日(火)午後2時00分
 場所：立川総合支所3階 第二会議室
- (2) その他
- 5 閉 会
- 4 出席者
- | | |
|------|----------------|
| 教育長 | 菅原 正志 |
| 教育委員 | 今野 悦次(第一職務代理者) |
| 教育委員 | 梅木 均(第二職務代理者) |
| 教育委員 | 太田 ひろみ |
| 教育委員 | 齊藤 雅子 |
- 5 欠席者 なし
- 6 傍聴人 なし
- 7 説明を要した者及び議事録作成のために出席した者
- | | |
|-----------------|-------|
| 教育課長 | 佐藤 美枝 |
| 社会教育課長 | 上野 英一 |
| 社会教育課長補佐兼社会教育係長 | 阿部 浩 |
| 指導主事 | 富山 裕二 |
| 主査兼学校給食共同調理場係長 | 荒木 美紀 |
| 教育課主査兼学校教育係長 | 清野 美保 |
| 社会教育課主査兼図書館係長 | 佐藤 晃子 |
| 教育施設係長 | 押切 崇寛 |
| 文化スポーツ推進係長 | 池田 省三 |
| 教育課長補佐兼教育総務係長 | 佐藤 貢 |

| | |
|-----|---|
| 開 会 | (午後2時00分) |
| 教育長 | それでは令和元年第11回庄内町教育委員会定例会を開会します。2議事録承認に移ります。令和元年第10回定例会議事録について、何か訂正や加筆などがあればお願いいたします。 |

| | |
|--------------|---|
| 委員 | 〔質疑の声なく〕 |
| 教育長 | よろしいですか。令和元年第 10 回定例会議事録の同意を確認し、3 報告 (1) 経過報告について説明をお願いします。 |
| 佐藤教育課長 | (資料に基づき説明する。) |
| 教育長 | 9 月 6 日の庄内町少年の主張大会には議会中だったことで、今野委員より出席していただきました。出席した状況について報告いただければと思います。 |
| 今野委員 | この度の大会より各中学校より 3 名ずつの発表者だったものが、立川中学校が 2 名となり、総勢 5 名での主張大会となりました。それぞれが家庭教育だったり、体調が悪くて引きこもり不登校であったことや部活動を通じて思った日常気が付きや新たな感情の高ぶりなど、そういった事を題材としているものが殆どであり、審査の結果も拮抗しており、僅差ではありましたが、将来的な目線と気付き、話にインパクトがあるということで余目中学校の 2 名がブロック大会に進出することになりました。男女 1 名ずつ 2 名には期待をし、頑張っていたきたいと思います。 |
| 教育長 | 9 月 16 日の相撲大会の会場についての確認ですが、会場名は「町立相撲場」でよかったのですか。町立だとすると社会教育課の管理となるのですが、間違いはないのですか。 |
| 池田文化スポーツ推進係長 | 「庄内町相撲場」ということでコメッチ (指定管理者) が管理することになっています。 |
| 教育長 | 他に何か足りない部分があればお願いします。それでは次に移ります。報告 (2) 令和元年第 3 回庄内町議会定例会 (9 月) について説明をお願いします。 |
| 佐藤教育課長 | (議会付議事件名簿資料及び一般質問通告順資料に基づき説明する。) |
| 上野社会教育課長 | (一般質問通告順資料に基づき説明する。) |
| 教育長 | 今の説明を受けて、もう少し聞きたいことがあればお願いします。よろしいですか。報告 (3) に移ります。平成 31 年度要・準要保護者の認定等について説明をお願いします。 |
| 清野主査兼学校教育係長 | (資料に基づき説明する。) |
| 教育長 | 本町の全体的な人数の割合として、小学校が 9% で中学校が 9.65% なので 1 割未満であり、異動も含めた人数であると認識していただければよいかと思います。よろしいですか。報告 (4) 令和元年度計画訪問についてに移ります。説明をお願いいたします。 |
| 富山指導主事 | (資料に基づき説明する。) 給食代の訂正を求める。「165 円」を「240 円」とし、牛乳代ありに訂正。 |
| 佐藤教育課長 | 保育料の無償化の関係で給食費が月額 4,000 円となるのですが、子どもの部分は良かったのですが、大人の部分の給食費の金額が未だ定まっていませんでした。牛乳をつけるかつかないか統一したものがありませんでした。今後の考え方としては、子どもと同じ給食費の考え方をさせていただきたいと思います。したがって、大人も牛乳ありの 240 円ということで訂正させていただきたいと思います。 |
| 教育長 | 10 月 28 日は委員の皆さんは出席大丈夫でしょうか。 |
| 委員 | それぞれ「対応可能」の発言あり |
| 教育長 | 資料裏面の清川公民館の計画訪問について説明ください。 |
| 阿部補佐兼社会教育係長 | (資料に基づき説明する。) 冒頭、明日実施予定の余目第三公民館の計画訪問の延期について説明する。余 |

| | |
|--------|--|
| | 目第三公民館の計画訪問を来年度に持ち越しをしたい。その理由は、第三公民館の係長が体調不良で休みであり、資料対応ができないとの館長よりの申出もあることから、実施時期を来年度としたい。 |
| 教育長 | こちらの計画訪問への委員の皆さんの対応は如何でしょうか。 |
| 委員 | 梅木委員を除いて「対応可能」の発言あり |
| 教育長 | よろしいですか。それでは報告(5)平成31年度全国学力・学習状況調査結果について〔各校と町の考察〕説明をお願いします。 |
| 富山指導主事 | <p>(資料に基づき説明する。)</p> <p>庄内町の学力の定義と公表の仕方について確認させてください。庄内町ではテストなどの見える学力と子どもたちの行動や生活の様子、又は地域での行動など目に見えづらい学力と総合的なものを判断して子どもたちの学力として定義しています。そのために、全国学力・学習状況調査結果について、学力の部分は、調査結果の数値を公表はしていません。理由としては、総合的なものを判断して子どもたちの学力としていることから、一部分を取り出して公表するという事は、子どもたちの行動の、様子という部分で誤解を生むことがあるため、数値結果の公表はしていません。そのことをご了承、確認いただきたいと思います。〔結果、考察等の具体的な数値の発言は、非公開とする。〕</p> <p>小学校の学力調査については、昨年度までの国語AB及び算数ABが一本化になりました。中学校の学力調査については、今年度は英語も加わりましたが、今のところ来年度は英語を行う予定はないようです。</p> <p>今回の全国学力調査からわかることは、子どもたちの学力の結果だけではなく、学習指導要領を踏まえて言語活動を行い、表現力、判断力、思考力が育てられているかがわかります。つまり、授業改善がされているかがわかるわけです。学力調査だけで子どもたちの状況は判断できないわけではありますが、今、授業改善案を考えていますが、今の時点で主に2つ考えています。1つ目は、答えを求めて終わりではなく、答えを導くプロセスや考え方に着目すること。2つ目は当たり前のことですが、教えることはしっかり教えること。特に小学校では問題解決的な学習(まず自分で考えて、それから話し合いながら公式等を導いていくような学習)が主に行われているわけではありますが、すべての授業をこのような型で行うのではなく、「最初に教えてしまい、それから考える場面を作る授業」のスタイルも行う必要があります。児童生徒の理解をしっかりと定着させ、その上で活用力を育てる必要があります。この2つの視点で各校へ伝えていこうと思っています。</p> |
| 教育長 | 資料が膨大ですが、いろいろな課題や成果があります。ご覧いただいたの感想や意見をいただきたいと思います。梅木委員はどうですか。 |
| 梅木委員 | 前に中学校の国語の教科書をお借りして中身を見てみたのですが、非常に盛沢山の内容であり、小説や評論、基本的な手紙の書き方や敬語の使い方など中身が多種に渡っていますが、子ども達がよく授業についていっているなど感心するところです。資料から「国語の勉強は好きですか。」「英語の勉強は好きですか。」のいずれも県や全国平均を上回っておりますが、これから本格的に英語の授業対応が進んでいくと授業のバランス的なものが課題とならないのかと思ったところです。「英語の授業が好きだ。」「授業が分かりやすい。」という事になれば、塾に通う子も出てくるだろうし、他にいろいろな手立てを尽くしてくださいという保護者から英語の学力向上を求められるようになっていくのではないかと想像されると思います。そのことで学校での国語と英語の教育活 |

| | |
|--------|---|
| | 動、教科ごとの考え方に課題的なものが出てくるのではないかと思ったところです。 |
| 教育長 | そのことを指導主事はどう考えますか。 |
| 富山指導主事 | 今回の調査は中学校でしたが、本町では小学校でも英語指導の加配をつけていただいて各校を巡回対応していただいているので、指導については、大分改善してきていると思っています。「英語が好きだ。」というこの数値は、大変良い点であり、先生方の授業改善を進める努力の賜物であるので、更に授業改善を進めていければと思います。 |
| 教育長 | 今野委員はどうですか。 |
| 今野委員 | 非常に分かりやすく端的に纏めていただいております、成果と課題がきっちり見えて、それに対して課題の部分を今後どうしていこうかということが考えられているので、非常に良いことであると思います。我々はどうしても数値だけに目がいきますが、現場に計画訪問などで行きますと、小学校も中学校も子ども達は皆、素直で元気でちゃんと授業を受けていると思います。この間の少年の主張大会の講評のところで、ある審査員の方が言われたことは、立川中学校の子ども達は、「話を聞く時の姿勢がすごく立派である。」ということで、話を聞くこともきちんとして来ていると思います。確かに個々に数値に表れることは仕方ないことではありますが、数値にならない部分の指導体制や環境等の改善を図りながら進めていただければと思います。 |
| 教育長 | 太田委員はどうですか。 |
| 太田委員 | 夢サポート塾の授業の中でも英語は学校でもやれるから大丈夫ですということがあって、英語については学校で先生方が子ども達にしっかり指導をしているのだなと思ったところです。資料の後ろに添付されている評価判断シートで小学校、中学校とありますが、その中の学校質問紙の部分で「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」の項目で中学校では殆ど100%であり、先生方がいろいろ工夫してやっていることが分かります。小学校では▲の判断が多くありますが、内容を読んでみると小学校の先生方はいろんなことに対応しなければならず、とても忙しくてそこまで手が回らないのではないかと考えたところです。先程の指導主事の説明の中で授業改善案について2点話されましたが、その様な指導の仕方も今後定着してきて、先生方も忙しい中で活かしていければいいなとお話を受けて思ったところです。その下の「ICTの活用」のところでは、小学校が100%で、中学校が50%なっていますが、小学校ではタブレットとか電子黒板とかパソコンとかいろんな物があると思いますが、100%ということではどんな電子機器を使っているのでしょうか。 |
| 富山指導主事 | 各教室にテレビを購入設置していただき、教科書とかを拡大する拡大器を設置し、他にデジタル教科書とかを購入いただきパソコンとテレビを接続し、例えば図形学習ではPC画面をクリックすれば、その図形が動いたりするもので、その様なものを各教科で活用しているところです。 |
| 太田委員 | 庄内町ではタブレットの活用は未だしていません。 |
| 富山指導主事 | タブレットはまだ考えておりません。 |
| 太田委員 | いろんな機器を買っていただくことは、とても有難いのですけれどそれをどれだけ活用しているのかと考えることが大事かなと思いました。それが100%の活用となっているということなので凄いことだなと感じたところです。 |
| 教育長 | 齊藤委員はどうですか。 |
| 齊藤委員 | 評価診断シートを見てみると庄内町の子ども達は、素直でいいなと感じている |

| | |
|--------|---|
| | <p>ところですが、小学校の自己肯定感のところでは「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している」「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」ところの数値の低さをみると、子ども達は素直に聞いているのだけど受け身で聞いているだけで自分達から自ら率先して発信する力がないのかなと自分の子どもを見ても思う時があります。「勉強したい。知りたい。何かしたい。」等の意欲を引き出すためにはどうするのか難しいところがありますが、考えていかなければならないと思っています。地域との連携を図り、地域の行事にも積極的に参加し、地域の役に立とうとする意識が芽生えていくことはいいのですが、家庭と学校の連携が進む中で、私の周りで一時的に学校での宿題が多すぎるとの声が多くあって、それを学校に伝えると宿題を出す先生方の足を引っ張ることになるのではないかと感じています。基礎的な算数の計算などは数をこなすことが大切であり、学校と家庭の連携の中で先生方のそれぞれの立場で考えて提出を求める宿題などには、保護者が理解して協力するという意識をもっと高めることも必要ではないかと思えます。もう一つは、読書が好きな子どもが多いのだけれど読む能力の数値が低くなっていることが気になります。読み聞かせ等とは別に自ら本の題名等から選び読みたいと意欲をもって読むのではなくて、本を読みなさいと言われて渋々読んでいるという受け身の状態ではないかということに疑問を感じています。最後になりますが、算数を好きにさせるにはどうしたよいか苦慮していますが、先生方の指導に期待するところが大きいので、連携を密にして取り組まなければならないと思います。</p> |
| 教育長 | 指導主事は算数を好きにさせるにはどうしたらよいと思えますか。 |
| 富山指導主事 | 本来は楽しい算数の授業をすることが一番なのですが、普段使っている教科書を通して楽しい授業を行うことには少し難しい面もあると思います。「算数が好き」という子どもは、「算数の教科としての本質、考えることが好き」という子どもと「算数が分かるから好きになった。」という子どもがいます。なので、算数が分かる子をどんどん増やして行き、「算数は楽しいかもしれない。」と子ども達が思うように授業改善を進めて、そこから楽しい授業に発展していければいいなと思っています。まずは分かる授業を目指していければと思います。 |
| 教育長 | 難しいことですね。本町で学習支援員を数年前に置いた最初の目的は、算数・数学の学力の向上にありました。しかし、この数字を見ると算数の学力を簡単に上げていくことは難しいことだなと思います。ただ、現場では先生方がすごく勉強して頑張って指導していただいていますので、これを真摯に受け止め、一層指導の仕方を勉強していただければなと思っています。 |
| 梅木委員 | 「楽しい授業」と「分かる授業」をイコールとして結ぶことができるのでしょうか。例えば、英語では最初に始める時には、「楽しい英語」や「英語に親しむ」とか英語が好きになるようになっていくが、「分かる授業」となると取り掛かりのイメージとしては少しかたくはないですか。 |
| 富山指導主事 | そのことについて説明していくと非常に長くなるのですが。 |
| 梅木委員 | 感覚的な捉え方であると思っているのですが。 |
| 富山指導主事 | 分かる授業というのが先生方で認識が異なっているので、共通認識を図っていくために来年の研修事業のなかでも考えているのですが、まずは分かる授業について町内の先生方で研修を積み、共通認識が持てるように今現在計画を考えているところです。 |
| 教育長 | それは指導論だと思います。今、結果について各学校で詳しく分析をしていただいています。その対応策についても示していただくようお願いしているところ |

| | |
|------------|---|
| | です。その分析・対応策がまだ出てきていないのですね。 |
| 富山指導主事 | 全部揃っていますが、今度の校長会やその後の教務主任会で持ち寄って貰い、その中で各校の対策や手立てについて、共通認識を図っていこうと思います。 |
| 教育長 | 私からは2つ程あります。先ず1つは、文章を読んでも理解できていないのではないかと考えています。算数の長い問題文になると理解していないのではないかと。また、読書は好きだけれども中身を理解しているのだろうか、活字を追っているのだけで深読みしないでそのまま最後までずっと流して読んでいないかと思っています。子ども達が短い文章でもしっかり読んで理解しているのかを確認していくことも必要だと思います。短文形式のものは良い結果が出ていますが、しっかりと読み込んで答える部分で理解ができないということは、算数にも社会、理科にも通ずる訳であり、これは算数だけの問題ではないと思ったところです。それから朝食を取らない子が全国、県から比べても多いと思います。今年だけの傾向かもしれませんが、家庭の中で朝ご飯を食べられない子は宿題もしていないのではないかと。宿題ができるような環境にないのだと思います。その辺のところもすごく大事だなと思っています。朝ご飯を食べるといふ基本的な生活習慣ができてないということは、もう少し分析していかなければならないと感じました。また、この全国学力・学習状況調査の目的は、競争することではないし、点数の良し悪しを判断するのではないので、これを学校に持ち込んで先生方が分析をして来年度の指導に役立てるための調査であって、子どもの優劣を比べるものではないという基本的な概念があり、数値の公表はしないという約束がありますので、皆さんからはこのことをご承知していただければと思います。報告(5)については、よろしいですか。それでは報告(6)その他に移ります。説明をお願いします。 |
| 上野社会教育課長 | 図書館整備事業基本設計業務委託公募型プロポーザル審査の結果について報告させていただきます。7月の定例会終了後に4月以降の経過や図書館基本計画の見直しについて説明させていただきました。また、基本設計業務委託公募型プロポーザルに10者から参加表明があり、その後、技術提案書の提出のあった9者について選定委員会で審査し、最優秀者を決定しております。この間の経過と最優秀業者の会社概要について、本日配布の資料の中で図書館係長から説明させていただきます。 |
| 佐藤主査兼図書館係長 | 当館への計画訪問でお出でいただいた時にもプロポーザルの途中経過ということでお話をさせていただきました。その後について、流れが分かる資料を本日準備させていただきました。本日配布資料の2頁目のホームページから抜粋した資料ですが、その後の経過となります。第一次審査の結果5者、それを踏まえてヒアリングをして最優秀者1者シーラカンズK&H株式会社、次点者が有限会社マル・アーキテクチャということで結果が出たところです。この講評については、ホームページにもアップされていますので、どなたでもご覧になることが出来ますが、本日敢えてどの様な選定結果があったのかの参考として資料提示させていただきました。いずれの参加業者も事業計画や背景をご理解いただき独創性があり質の高いハイレベルな設計となったと思っています。最優秀者が決まり、その後9月13日に見積執行を行い、現在、契約締結に向けて事務的な準備を進めています。また、9月17日には町議会、議員に対して文書での設計業者選定の報告をしております。最優秀者となったシーラカンズK&H株式会社の会社概要を参考までに資料準備させていただきました。資料を一枚めくっていただきますとこれまでの実績が載っています。特に報告したいと |

| | |
|-------------|--|
| | <p>ころでは、この会社がネームバリューを大きくしたのは金沢海みらい図書館の設計、建築の実績で、非常に大きな評価を受けています。世界の最も美しい公共図書館 Best25 にも選出されており、国内でも高い評価を受けています。また、今年に入ってから埼玉県大宮図書館の設計もされているという事務所があります。また、もう一枚めくっていただくとその受賞歴からもこれまでの実績を見てとることができます。今回のこのプロポーザルに参加いただいた設計事務所は、同等レベル若しくはそれ以上の実績のあるところから手を挙げていただきました。本当に感謝するところです。これまでシーラカンスK&H株式会社の高い実績について報告しましたが、最も美しい図書館という冠のついた実績が多いのですが、我々が目指す本町の図書館は、美しい図書館ということではなく、コストコントロールですとか、人口2万人規模の自治体にふさわしいコンパクトさにプラスしてインパクトということでシーラカンスK&H株式会社との連携をとって進めて行きたいと思います。また、教育委員の皆さんから検討いただいた基本計画の実現に向けて頑張っていきたいと思います。最後にシーラカンスK&H株式会社の実績をもう一つ付け加えるならば、学校の実績も非常に高く評価されているますので、私ども現場としましてはそちらにも高い期待を寄せているところです。</p> |
| 教育長 | <p>設計業者が決まりましたので、もう少し聞きたいことがあればお願いします。よろしいですか。3 報告を終わります。4 その他 (1) 次回の第 12 回教育委員会定例会の開催について、令和元年 10 月 29 日火曜日午後 2 時からこの場所で開催したいと思いますが委員の皆さんの日程は如何でしょうか。前日に計画訪問が予定されており、委員の皆さんには連日の対応となりご苦勞をお掛けすることになりますが、よろしくお願ひしたいと思います。</p> |
| 委員 | それぞれ「対応可能」の発言あり |
| 教育長 | <p>よろしいですか。よろしくお願ひしたいと思います。それでは (2) その他はございますか。</p> |
| 佐藤補佐兼教育総務係長 | <p>教育委員の視察研修事業について、未実施となっておりますが、視察研修先の情報についてご意見をいただければとおもいます。9 月 30 日月曜日の総合教育会議の開催日までに事務局までにお知らせいただければと思います。</p> |
| 教育長 | <p>他に何かございませんか。それでは以上をもちまして令和元年第 11 回教育委員会定例会を終了します。</p> |
| 閉 会 | (午後 3 時 31 分) |